

基本方針	大項目	中項目	目標指標	主管課	目標値(H25)	現状値	実績値	達成度	評価・課題
I 子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち・すべての世代が生き生きと暮らせるまちづくり	1 未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実	1-1 幼児教育・学校教育	学校支援ボランティアの登録者数	生涯学習課	800人	662人(H20)	(のべ人数) 2,134人(H25)	-	ボランティアを登録制にしていない地域もあり、ボランティア実施のべ人数での実績値とした。地域・学校・家庭をつなぐ協働教育事業を実施。地域との連携による学校支援・家庭支援を行い、先駆的なモデルとなっているが、ボランティアが固定化しており、新たな人材発掘の体制構築が課題となっている。
			小中学校図書館蔵書数	学校教育課	100,000冊	68,879冊(H20)	105,348冊(H25)	達成	目標値を上回る蔵書数となったが、蔵書率は学校図書館標準蔵書数を下回っている。読書習慣の定着のため、「富谷町図書館を使った調べる学習コンクール」などを契機とした、日常的な学校図書館の活用に向けた体制づくりが課題となる。
		1-2 青少年健全育成	青少年健全育成富谷町民会議の取組みを充実し、より一層の青少年の社会活動の参加と健やかな成長を目指す。	生涯学習課	-	-	-	ほぼ達成	「少年の主張富谷大会」の開催、各種団体による大型店舗の巡回パトロールの実施を行っている。ジュニアリーダー・インリーダーなどの年少指導者を育成するための指導者の確保が課題となる。
	2 学び続けることのできる環境の整備	2-1 生涯学習	各種教室参加者、公民館施設利用者延べ人数	生涯学習課	270,000人	249,505人(H20)	279,224人(H25)	達成	地域コミュニティの場としての環境整備、ライフステージに応じた講座・教室の開催により、目標値を上回った。今後も利活用しやすい公民館整備を図り、地域間・世代間のさらなる交流を図っていく。
			貸出図書冊数	生涯学習課	68,500冊	65,865冊(H20)	86,436冊(H25)	達成	図書システムの導入により町内公民館の相互貸出が可能となり、目標値を大幅に上回った。また、地域ボランティアやサークルの協力により、読書活動の推進が着実に図られている。今後は、各世代ごとのニーズに合わせた公民館図書館の運営が課題となる。
		2-2 芸術・文化	十三夜 魂のふるさとまつり来場者数	生涯学習課	50,000人	26,500人(H20)	20,000人(H25)	未達成	平成26年度は30,000人の来場者があり、ランタンアートなど、町内外からの認知度が高い町のイベントのひとつとなっている。当初は2日間の開催としていたが、平成24年度から1日開催となったことが目標値の達成に至らなかった要因として挙げられる。
			富谷町民俗ギャラリー来館者数	生涯学習課	1,300人	1,099人(H20)	885人(H25)	未達成	小中学生や福祉施設の団体利用者が増加している。来館できない小中学校へ資料の貸出しやミニパネル展などを行い、充実を図っているが、ギャラリーの立地などが課題となる。
		2-3 スポーツ・レクリエーション	富谷町総合運動公園利用者数	生涯学習課	120,000人	107,448人(H20)	107,495人(H20)	未達成	平成24年度には目標値をほぼ達成する利用者数となったが、平成25年度は修繕工事などによる開放日数の減少により利用者数も減少した。改修したテニスコートの利用者は大幅に増加しており、今後も生涯にわたるスポーツ活動の場として環境整備に努めている。
			TOMIYAスポーツフェスティバル参加者数	生涯学習課	1,000人	667人(H20)	318人(H20)	未達成	開催日数を2日間から1日に変更したため、当初の参加人数から半減している。世代間の交流や健康づくりの機会として、さまざまなニュースポーツを体験することができる本イベントは、楽しく、親しみやすい種目の選定・提供が課題となる。
	3 安心して子育てのできる環境の整備	3-1 子育て支援	待機児童数(4月現在における人数)	子育て支援課	0人	47人(H20)	41人(H25)	未達成	平成25年度時点で町立及び町内認可保育所で790名の入所が可能となったが、3歳未満児の入所希望者が多く、待機児童の解消には至っていない。認可外保育施設へ通園する児童保護者への助成や家庭的保育事業の継続を図るとともに、保育施設の新設に向けた検討が必要となるが、全国的な保育士の不足などの課題がある。
			新生児訪問率	子育て支援課	95.0%	87.9%(H20)	98.2%(H25)	達成	母子手帳交付時や転入時に出生連絡票提出の説明、未提出者への連絡などのきめ細かいサービスにより、新生児訪問率の増につなげている。今後は、乳幼児健診受診者の増加、発達相談の増加に対応する施設や相談体制の充実が課題となる。
	4 誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり	4-1 健康	各種検診の受診率	健康増進課	5%増	30.6%(H20)		ほぼ達成	休日や夜間の検診の実施など検診機会の充実に努めたことにより、受診率の向上は見られるものの、受診しやすい環境の整備や健診項目の見直し、一層の周知・啓発によるさらなる受診率の向上を図っていく。
			各種健康教室等受講者数	健康増進課	2,800名	2,300名(H20)	1,785名(H25)	未達成	健康推進員の協力を得ながら、各種健康教室などを開催し、健康保持・増進に努めている。内容の見直しにより、統合した事業もあることから、目標数には達しなかったが、健康づくりの意識向上は図られた。今後は、若い世代が参加できる事業内容の工夫が課題となる。
		4-2 医療	献血率	健康増進課	2.0%	1.5%(H20)	2.9%(H25)	達成	町内事業所等に積極的な協力を呼びかけ、普及啓発を図ったことで、目標値を達成している。
			医療満足度の向上	(住民アンケート)	向上	16.7%(H21)	17.9%(H28)	達成	黒川郡医師会との委託契約により、休日急患診療の確保に努めるとともに、黒川消防署との連携による救急医療体制の整備充実などにより、満足度は向上しているが、地域ごとの医療機関の充実が課題となっている。
		4-3 高齢者	ゆとりすとクラブの開催箇所数	長寿福祉課	20箇所	15箇所(H20)	18箇所(H25)	ほぼ達成	町内18箇所での実施となり、目標値には達していないものの、高齢者の交流の場としての効果が見られる。参加者数も増加しており、今後も全体会などを通じた高齢者の地域交流の場として内容等の検討を図っていく。
			あったか・ほっとな地域づくり事業による支援	長寿福祉課	全町内会	全町内会(H20)	全町内会(H25)	達成	町内会での敬老祝い事業に対する支援となる。目標値は達成しているが、目標指標としての設定については、見直しが必要である。

基本方針	大項目	中項目	目標指標	主管課	目標値(H25)	現状値	実績値	達成度	評価・課題	
		4-4 障がい者	就労移行支援・就労継続支援利用障がい者数	地域福祉課	21人	7人 (H20)	50人 (H25)	達成	目標値に対して大幅な増となっている。支援事業の継続とともに、町内での就労先の創出が課題となる。	
		4-5 地域福祉	富谷町社会福祉協議会へのボランティア登録者数	長寿福祉課	600人	503人 (H20)	645人 (H25)	達成	東日本大震災による共助の高まりにより、ボランティア登録者数が増加している。登録者数の拡大とコーディネーターの育成の充実が今後も必要となる。	
II 豊かな自然環境と活力ある地場産業を自慢と誇りにできるまちづくり	1 企業誘致による新たな就業の場の提供	1-1 工業	事業所数(工業統計)	産業振興課	23事業所	19事業所 (H20)	17事業所 (H25)	未達成	工業統計調査による事業所数は目標値に達しなかったが、地理的立地条件・各種優遇制度を適切に案内し、今後も継続した企業誘致の取組んでいく。	
		1-2 労働雇用	労働雇用満足度の向上	(住民アンケート)		6.5% (H21)	13.2% (H28)	達成	満足度は向上しているが、引き続き企業誘致による雇用の創出、高齢者の雇用対策としてのシルバー人材センターの活用を推進し、さらなる満足度の向上を図る。	
	2 地域資源を活かした魅力の向上	2-1 農業	認定農業者数	産業振興課	20人	18人 (H19)	18人 (H25)	未達成	認定農業者数は、新規認定があったものの、目標値には達しなかった。農地利用集積の担い手となる認定農業者のさらなる育成・確保が必要となる。	
			ブルーベリー生産面積	産業振興課	4.7ha	4.2ha (H20)	4.2ha (H25)	未達成	生産面積の増には至らなかったが、ブルーベリー専任アドバイザーの委嘱、「とみやブルーベリースイーツフェア」を開催し、ブルーベリーの魅力を発信しており、今後の産地拡大に向けて継続した事業の推進が必要となる。	
		2-2 商業	商圏吸収人口	産業振興課	30万人	29万人 (H20)	29.7万人 ( )	ほぼ達成	一定規模以上の商業施設の進出により、商圏人口は増加しており、今後も増加が見込まれる。住環境とのバランスを考慮した誘導・集積が課題となる。	
			商店数(商業統計)	産業振興課	310店	296店 (H19)	234店 (H26)	未達成	大規模店舗の立地等により、小売店の減少が見られたため、目標数値を達成できなかった。	
	2-3 観光	十三夜 魂のふるさとまつり来場者数 ※再掲	-	-	-	-	-	-		
	3 『居住の場』として選択され続けるための環境づくり	3-1 住宅	世帯数	-	17,500世帯	15,441世帯 (H20年度)	17,816世帯 (H25年度)	達成	自然環境と生活の利便性に恵まれた立地条件を活かし、目標値を達成している。今後も住宅需要を見据えた土地利用が必要となる。	
			耐震診断士派遣事業申請件数(累計)	都市計画課	111件	81件 (H20)	139件 (H25)	達成	東日本大震災の発生により、申請件数が増加し、目標値を達成することができた。引き続き、昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震診断の周知・啓発が必要となる。	
		3-2 公園緑地	町民一人あたりの都市公園面積	都市計画課	現状維持	13.58㎡ (H20)	12.46㎡ (H25)	未達成	人口の増加が要因となり、目標値を達成することはできなかった。今後は、住民のニーズとのバランスを意識した公園整備が課題となる。目標値は、満足できる生活環境を確保するために求められる現実的な面積とすべきである。	
		3-3 道路	都市計画道路整備率	都市計画課	75.8%	69.7% (H20)	74.0% (H25)	未達成	仙台北部道路の全線整備完了により、整備率は増加した。今後も土地利用計画との調整の中での計画的な整備の推進が課題となる。	
		3-4 公共交通	町民バスの利用者数	企画政策課	55,000人	48,941人 (H20)	70,952人 (H25)	達成	バス路線の見直しなどを行い、大幅な利用者増となっている。今後も定期的な見直しを図りながら、利用者ニーズなどを踏まえた事業運用が課題となる。	
		3-5 土地利用	-	-	-	-	-	-	-	
		3-6 自然環境	太陽光発電システム設置件数(一般住宅)	町民生活課	600件	415件 (H21)	-	-	-	国策の見直しにより宮城県の計画が変更となり、町の補助事業を中止し公共施設へのLED照明を導入することとしたため、設置件数を把握できなかったため、評価できず。
		3-7 上水道	上水道利用の有収率	上下水道課	89.9%	86.3% (H20)	87.9% (H25)	未達成	数値は上昇したものの、目標値を達成することはできなかった。保守点検、老朽管路の修繕などによる効率的な給水が必要となる。	
3-7 上水道		水道料金の収納率	上下水道課	99.0%	98.1% (H20)	97.0% (H25)	未達成	目標値を達成することはできなかった。地方公営企業として、財政体質の健全化に向けた一層の取り組みが必要となる。		

基本方針	大項目	中項目	目標指標	主管課	目標値(H25)	現状値	実績値	達成度	評価・課題
II 豊かな自然環境と活力ある地場産業を自慢と誇りにできるまちづくり	3 『居住の場』として選択され続けるための環境づくり	3-8 下水道	水洗化率	上下水道課	96.0%	95.5% (H20)	99.8% (H25)	達成	下水道需要に合わせた推進により目標を達成している。今後は、合併浄化槽設置推進による公共下水道以外の区域における普及率の向上が課題となる。
		3-9 環境衛生	1人1日当たりのごみ排出量(g)	町民生活課	884g	949g (H20)	974g (H25)	未達成	人口増やライフスタイルの変化に伴い、ごみの排出量は増加しており、目標値を達成することはできなかった。さらなる取組みが必要となる。
	4 安心して生活できる環境づくり	4-1 防災	自主防災組織加入戸率	総務課	80%	57.9% (H20)	65.2% (H25)	未達成	自主防災組織への補助金交付は、23団体(28町内会)となった。組織化をしない地域もあることから、自主防災組織という枠組での指標化は検討が必要となる。
			婦人防火クラブ組織率	総務課	80%	63.6% (H20)	60% (H25)	未達成	ライフスタイルの変化により、全国的にクラブ数は減少している。時代に即した運営が課題となる。
			富谷町消防団員充足率	総務課	100%	88.2% (H20)	86.6% (H25)	未達成	全国的に減少傾向となっているが、目標達成のためには、消防団活動の啓発、団地部での団員確保などが課題となる。
		4-2 防犯・消費生活	犯罪率	総務課	7.5件	8.5件 (H20)	4.6件 (H25)	達成	警察署や防犯協会などの関係機関との連携や富谷町安全安心メールを活用した不審者情報の発信など、「見せる活動」を行った結果、目標を達成することができた。継続的な活動を図っていく必要がある。
			通年パトロール実施町内会数	総務課	20町内会	10町内会 (H21)	11町内会 (H25)	未達成	自主防犯活動への支援や研修会を開催している。普及啓発活動に向けて、町内会組織や各ボランティア団体との連携が課題となる。
		4-3 交通安全	交通事故発生件数	総務課	120件	150件 (H20)	209件 (H25)	未達成	交通安全活動の積極的な展開を行っている。高齢者を対象とした「交通安全教室」や「通学路点検」など、時代や地域に即した継続的な事業展開が必要となる。
	4-4 情報通信	申請届出などの行政手続のオンライン化	総務課	40事務	8事務 (H20)	18事務 (H25)	未達成	申請項目は増加しているが、利用者数は少ない。現在は申請受付のみのため、各種証明書のオンライン発行に向けた検討が課題となる。	
		ホームページ訪問者数(/日)	企画政策課	1,000人/日	670人/日 (H20)	1,977人/日 (H25)	達成	東日本大震災関連の情報発信やソーシャルメディアの効果的な活用により、訪問者数は大幅な増となった。双方向性や即時性を活かした情報提供の発信が課題となる。	
III 町民と町が直接つながるあったかいまちづくり	1 住民との協働によるまちづくり	1-1 住民参加	住民参加満足度及び意向反映満足度の向上	(住民アンケート)		住民参加18.3% 意向反映19.1% (H20)	住民参加11.4% 意向反映14.0% (H28)	未達成	町長への手紙や、町政懇談会など、広く住民の意見を聴く機会を設けている。意見の結果の公開など、双方向での情報発信が課題となる。
		1-2 住民協働	住民参加と住民協働の基本的ルール、まちづくり基本条例を制定	企画政策課			未制定 (H27)	未達成	制定に至っていない。条例の構成、作成過程の検討などが課題となる。
		1-3 住民活動支援	本町で活動するNPO数	企画政策課	6団体	3団体 (H20)	5団体 (H25)	未達成	宮城県での許認可となり、評価が困難な項目となる。
		1-4 人権尊重・男女共同参画	審議会等委員への女性登用率	総務課	35%	31% (H20)	46% (H25)	達成	審議会などへの女性の参画を積極的な推進に努めている。
	2 効果的・効率的な行政運営	2-1 行政運営・財政運営	財政健全化判断比率4指標	財政課	基準内維持	適正基準内	適正基準内	達成	財政課健全化判断比率4指標については、健全な財政運営を図り、今後とも適正数値の維持に努める。
			町税収納率	税務課	93.00%	91.6% (H20)	95.39% (H25)	達成	計画的な催告の実施、宮城県地方税滞納整理機構・宮城県仙台北県税事務所との連携の強化により、さらなる縮減を目指す。
			ホームページ訪問者数(/日) ※再掲	企画政策課	1,000人/日	670人/日	-	-	-
		2-2 職員意識・組織構造の改革	人材育成に主眼を置いた人事考課制度を確立し、適正に運用します。	総務課	-	-	-	達成	職員の能力開発と組織の活性化を図り、適材適所の人事管理を目的とした人事考課制度については、一定の構築は達成した。今後は、職員のモチベーション向上を図るための業績評価の構築と運用が課題となる。